

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 223 号 ★★★

**第 43 回 BMS コンファレンス (BMS2016) のご案内**  
**(The 43rd Biological Mass Spectrometry Conference)**

日本プロテオーム学会員の皆様

先ほどお送りいたしました、

日本質量分析学会・小川覚之先生から届きました第 43 回 BMS (Biological Mass Spectrometry) コンファレンスのご案内について、後半部分に不備な部分がありましたので、訂正して再送させていただきます。

お手数をおかけいたしますが、差し替えをお願いいたします。

日本プロテオーム学会事務局

---

**第 43 回 BMS コンファレンス (BMS2016)**

[The 43rd Biological Mass Spectrometry Conference]

詳細は下記 HP をご覧ください

<http://www.mssj.jp/society/branch/bms/bms43.html>

主 催：(一社) 日本質量分析学会 BMS 研究会

会 期：2016 年 7 月 4 日 (月) ～6 日 (水)

会 場：ホテルニューアカオ (静岡県熱海市)

第 43 回 BMS コンファレンスでは、「生命科学を牽引する質量分析の最前線 ～医薬・医療への応用に向けて～」をメインテーマに、生命科学の基礎研究から医薬、医療への応用に関わる質量分析のさらなる可能性について、講演、討論を行います。2泊3日の合宿形式で開催します。参加者同士のほか演者やメーカーの方々との交流や情報交換の場としてもご活用ください。

プログラム

**【基調講演】**

「国境なき感染症にそなえる知のネットワーク J-GRID 10 年の歩み」

永井 美之 (理化学研究所研究顧問、東京大学名誉教授、名古屋大学名誉教授)

**【特別講演】**

「創薬におけるバイオマーカーの役割（仮題）」

小田 吉哉（エーザイ・バイオマーカーユニット、プレジデント）

### 【質量分析基礎講座】

阿久津 弘明（旭川医科大学）

「質量分析の基礎の基礎」

笠間 健嗣（東京医科歯科大学）

「タンパク質解析・メタボローム解析 ー依頼分析する側の日々」

### 【テーマセッション】

#### <MSの医療応用>

足立 淳（医薬基盤・健康・栄養研究所）

「バイオマーカー・コンパニオンマーカー開発のためのプロテオミクス基盤技術開発」

有田 誠（理化学研究所）

「リポクオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究」

野村 文夫（千葉大学）

「マスマスプロトメトリーにより大きく変貌する臨床検査 ー現状と課題ー」

竹田 扇（山梨大学）

「質量分析から医療機器への道程」

#### <MSを生かす前処理技術>

馬場 健史（九州大学）

「メタボローム解析における試料調製」

安藤 孝（宮崎県総合農業試験場）

「MSの進化がもたらした残留農薬分析前処理の簡略化」

吉田 優（神戸大学）

「メタボロミクスによる早期大腸癌スクリーニングシステムの開発」

小寺 義男（北里大学）

「様々な前処理技術を用いた血漿プロテオミクス・ペプチドミクス」

#### <バイオ医薬品>

有坂 文雄（日本大学、東京工業大学名誉教授）

「超遠心分析および静的光散乱法を用いた蛋白質の性状及び相互作用解析」

津本 浩平（東京大学）

「蛋白質相互作用の物理化学解析と創薬」

吉田 麻希（中外製薬工業株式会社）

「抗体医薬品の品質特性解析における minor modification 評価」

天野 正人（第一三共株式会社）

「質量分析によるバイオ医薬品開発候補品の初期物性評価」

#### <薬物動態>

佐野 善寿（株式会社サンプラネット）

「薬物動態と MS : Overview」

只野 純 (大日本住友製薬株式会社)

「イメージング質量分析法の創薬研究への応用」

西宮 一尋 (中外製薬株式会社)

「ADC (Antibody-Drug Conjugate) 測定とその解釈 – Kadcyra (T-DM1) を例として」

清水 敦司 (大鵬薬品工業株式会社)

「イオンモビリティを利用した代謝部位同定に関する提案」

#### <MS のフロンティア>

小椋 康光 (千葉大学)

「質量分析法を基盤としたセレノメタボローム解析」

川村 猛 (東京大学)

「エピゲノム創薬と質量分析」

鈴木 仁 (東京都健康安全研究センター)

「東京都における危険ドラッグの分析 – 流行の推移や分析時の注意点」

津川 裕司 (理化学研究所)

「低分子化合物網羅的解析のためのデータ処理・同定技術の開発」

福田 真嗣 (慶應義塾大学)

「メタボロゲノミクスによる腸内細菌叢の機能理解とその制御」

#### 【ポスターセッション (一般公募)】

Biological Mass Spectrometry に関する話題を募集します

#### 【スポンサー企業の技術紹介】

#### 【ナイトセッション (フリーディスカッション)】

募集人員 : 200 名

参加登録費 :

日本質量分析学会正会員 : 37920 円

日本質量分析学会学生会員 : 30420 円

日本質量分析学会非会員 : 49680 円

日本質量分析学会学生非会員 : 36180 円

(参加登録費および 2 泊分の宿泊代を含む)

参加登録締め切り :

2016 年 5 月 31 日 (参加登録は事前申込のみとなります)

実行委員長 : 絹見 朋也 (国立研究開発法人 産業技術研究所)

お問合せ先 : BMS2016 実行委員会

E-mail : bms2016-desk@mssj.jp